

コスト・ラムロ कस्तौ राम्री

1999年5月20日発行



● 電灯の灯る日を待つブジュン村

◆ ニュースフラッシュ ◆

1. ブジュン村小水力発電所・6月中旬に完成!

徳島ネパール友好協会最大の事業である、ネパール・ブジュン村に建設中の小水力発電所がいよいよ完成します。起工から丸2年、計画立案から5年目にしてブジュン村に電灯が灯る日が間近になりました。

現地の関係者からの連絡では5月中旬に発電所、配線などの工事を終了し、6月9日ごろから試運転を始め、中旬には完成、村へと引き渡されるようです。

電灯の灯る日については、まだはっきりとした日時との連絡はありませんが、近々連絡をいただけるでしょう。

ブジュン村の人々の笑顔が見えるようです。共に喜びたいものです。点灯の日には当協会からも立会として有志が派遣される予定となっています。

完工式、祝賀会についてはこの秋に予定されていますが、日程などについては現地と協議の上、決定します。

2. ブジュン村小水力発電所建設事業に徳島新聞社賞・社会部門賞が授与されることが決定!

徳島県下において優れた業績を残した団体、および個人に授与される徳島新聞社賞の社会部門に徳島ネパール友好協会のブジュン村小水力発電所建設事業が選ばれました。

徳島県民のボランティアによって建設が進められ、ネパールの山村に電灯を灯らせる事業内容とネパールとの友好関係の促進に努力した点が高く評価されたものです。受賞式は6月に行われます。

***視察報告について**

3月3日より1週間当協会の中瀬会長、柳沢理事、吉本会員、塗本の4名がブジュン村現地視察の際に作成した理事会への報告書を全文掲載しました。

現時点では完成が6月中旬になるとの連絡が入っているため、進捗状況などは大きく変わっていますが報告としてご覧ください。また、現地の工事コーディネーターであるシャンカルル・バイディア氏から送られてきた工程表も同時に掲載しました。あわせてご覧ください。

***「ブジュン村小型水力発電所」建設現場視察報告**

1999年3月3日より10日まで8日間の日程で、徳島ネパール友好協会・中瀬会長、柳沢、吉本、一般参加の塗本氏の4名が現地入りし、工事現場の視察及び関係者らとの会合を行った。

工事の現況

***施設工事について**

1. 発電所本屋工事

現在、建設中で壁の石積み工事及び放水路の工事が行われており4月中には完成の見込み。

2. パイプライン工事

埋設用の溝の掘削は終了し鋼管の溶接及び指定位置への据え付けは終了しているが、硬質ビニルパイプの敷設、接続工事については未着手。また、一部パイプの搬入が終了していない部分がある。

ビニルパイプは電気溶解接続を行うため、全ての接続を終えるには35日の工期を見込んでいる。

3. パイプライン台座工事

石積みは工事終了。前年の土砂崩れによる崩壊部も修復済み。ただし、支流部の横断部分については、一部設計の変更があり、再工事が行われる模様である。また、パイプライン敷設後の埋め込み工事については、パイプラインへのストレス試験後に行われる。

4. 農業用水分岐点工事

現在、分岐点の貯水槽については工事着手済みで4月までに完了見込み。パイプライン敷設は未着手。

5. 取水口工事

全体工事が未着手であるが、雨期までには完成させる予定である。ダムサイトについては布団籠の積み上げによって構築されるが、防水上での問題を柳沢、塗本氏が指摘、一部設計変更の必要がある。

***電気配線、架線工事について**

1. 発電機

タービン及び発電機は完成済み、本体分解の上、現地へ搬入中である。

2. 架線工事

電柱及び村への送電線の架設は終了、トランス取り付け工事はまだ着手されていない。

3. 村内配線工事

村内の架線は全て地下埋設工事になるというが、工事は未着手。各家屋への配線工事は50%が終了しており、4月中には完了する。

***まとめ**

工事は全般に遅れている。まだ未着手の部分が多くあり、現在の作業状況から見ると4月上旬の完成は不可能であると判断した。

以下、関係者の談話。

●シャンカルバイディア氏

「発電機、配線工事については予定通り終了できるだろう。しかし、パイプラインについては非常に難しいと見ている。また、一部電線などの資材搬入が遅れており、パイプラインの建設、資材半々に人を増やせば、5月終りまでには完成できるかもしれない。が、試運転のことなどを考えるときびしいといわざるを得ない」

●BYS社長

「作業員などを増やして、5月終までの完成に向けて最大限の努力をする。信用していただきたい」

●ビシュヌ氏

「早期完成を目指して関係者にプレッシャーをかけるつもりである」



● 険しい山道を人力で運ばれる発電機の部品、一個の重さは60キロ近くある＝1999年3月6日



● 急ピッチで進む村内配線工事、作業員はすべて電気工事の研修を受けた村の人達である＝1999年3月5日



● ブジュン村ACAP事務所前庭でシャンカルル・バイディア氏に工事の進捗状況を聞く、柳沢、塗本両氏。中央は通訳のダンゴール・シュレンドラさん＝1999年3月5日



● 発電プラント工事、建物がほぼ姿を現わした＝1999年3月5日

●1998年

- 5月 第1回理事会(会事務所)
- 5月 ブジュン村への小水力発電所建設現地視察(6)10名参加
- 5月 KMTNCおよびBYS社との協議(10)＝カトマンズ市
- 5月 ネパール写真展開催(貞光ゆうゆう館)
- 5月 ネパール写真展開催(神山温泉、ホテル四季)
- 6月 ネパール写真展開催(徳島銀行本店ロビー)
- 6月 第2回理事会(会事務所)
- 7月 第3回理事会(会事務所)
- 7月 県教委主催生涯生活ボランティアスクール「ネパールの山村に灯を」講話(天野親聡理事長)
- 8月 第4回理事会(会事務所)
- 9月 中央ロータリークラブ卓話「救急車寄贈県民運動」(天野親聡理事長)
- 9月 救急車寄贈団壮行会(北島サンライフ)
- 9月 救急車寄贈陸送隊出発(沖州マリニア)
- 10月 救急車寄贈親善使節団先発隊出発(沖州マリニア)
- 10月 救急車寄贈親善使節団次発隊出発(沖州マリニア)
- 10月 救急車寄贈贈呈式(カトマンズ市)
- 10月 ブジュン村への小水力発電所建設現地視察(7)9名
- 10月 KMTNCおよびBYS社との協議(11)＝カトマンズ市
- 10月 救急車寄贈親善使節団、陸送隊帰国(沖州マリニア)
- 11月 救急車寄贈団宝塚隊へ当協会理事、出口隆司氏参加、出発(沖州マリニア)
- 11月 出口隆司氏帰国(沖州マリニア)
- 11月 小水力発電所建設事業がイオングループ環境財団助成対象事業に認定
- 12月 救急車寄贈報告会および懇親会(徳島パークホテル)

●1999年

- 1月 小水力発電所建設事業打ち合わせ会議(会事務所)
- 1月 第6回理事会(会事務所)
- 2月 ネパール関係者より小水力発電所建設工事進捗状況報告
- 3月 ブジュン村への小水力発電所建設現地視察(8)4名参加
- 3月 KMTNCおよびBYS社との協議(12)＝カトマンズ市
- 3月 写真展「魅せられてネパール」開催＝山田善仁氏
- 3月 第7回理事会(会事務所)
- 4月 第1回小水力発電所建設事業事務局会議
- 4月 第2回小水力発電所建設事業事務局会議
- 4月 第1回小水力発電所建設事業完成記念誌発行準備会議
- 5月 第8回理事会
- 5月 「ネパール写真展」開催＝阿部浩一氏

*注ようこそ徳島へ、事務局だけの項も併せて参照してください。



●配線の終了した家屋内部、蛍光灯がつくようになっている
＝1999年3月5日

昨年から今年にかけてネパールから次の方々方が徳島を訪れました。また来徳予定の方も併せて紹介します。

●徳島を訪れたの方々

1998年4月

スーマン・シュレスタ氏

(ネパール徳島友好協会理事長、日本語学校校長)

ネパール写真展(県立近代美術館)のホスト役ならびに当協会第3回定期総会への来賓出席のため来徳。スーマンファンから大歓迎されました。

1998年7月

Dr.チャンドラ・グルン氏

(小水力発電立案者、大学教授)

小水力発電建設事業推進のため3回目の来徳、当事業に対する幅広い協議を協会役員と重ねた。(いつもお世話になっている当協会にとって大切な方です)

1998年9月

ビシュヌ・ゴパル・シュレスタ氏

(ネパール徳島友好協会会長)

春の総会出席が多忙のため実現されなかったが、秋に初めての来徳がかなう。県庁、徳島市役所などを表敬訪問。また小水力発電所建設事業でもネ徳協会会長として力強い援助をいただきました。

1999年1月

バラード・サキア氏

(ネパール民放局「イメージチャンネル」のプロデューサー)

カトマンズではビシュヌさんの良き理解者。我々もお世話になっている。徳島は初めての訪問。県内の各種工場、四国放送、徳島新聞社などを視察、親善に努める。

1999年2月

ウッタム・ダス・シュレスタ氏

(ホテル・マイホーム従業員)

カトマンズでマイホームに宿をとると必ず流暢な日本語で出迎えてくれる。初の徳島訪問。今回は他県の里親活動団体の招待で来日、当会員の真鍋先生のお世話で北島北小学校を訪問、交流を深めた。

1999年3月

Dr.ナラヤン、Dr.サンギータ 夫妻

(K・J・Sバラール氏の娘夫婦)

応神町の野口久雄氏(当会顧問)のお世話で来徳、親善観光。

●今年、来徳予定の方々

1999年5月下旬

世界的なネパール紙アーティストでありグリーントラベル社員として協会会員が訪ねの都度お世話になっているディーバック・シュレスタ氏が新婚旅行で来徳の予定です。協会では祝宴を予定しています。また、ビノード・シュレスタ氏(グリーントラベル)も来日を計画しており徳島への招待を考えています。

1999年6月

ミトラ・ラル・シュレスタ氏(元徳島大学医学部研究生)が研究活動のため当協会の柳沢理事のお世話で再来徳します。6月9日徳島入りし約半月間滞在、研究活動に従事する予定です。

事務局だより

*協会の主な出来事

- 1998年11月超小型水力発電所建設事業に対しオングループ環境財団より助成事業として認定され、50万円の助成を受けることになりました。
- 当協会理事・山田善仁氏が写真展「魅せられてネパール」(3/1~3/15)を徳島市かちどき橋のドクターエンドーで、また阿部浩一氏が写真展「ネパール写真展」(5/1~5/15)を徳島メガネギャラリーでそれぞれ開催、多くの鑑賞に訪れました。また三村和生氏(救急車陸送隊員)が近日中に写真展を開催するため準備中です。
- 当協会の中瀬会長、柳沢理事、吉本会員と一般から参加の塗本氏がブジュン村を訪問、水力発電所工事の進捗状況を視察しました(3/3~3/10)
- 中瀬会長が3月21日(金)放送のNHKローカルニュースに出演、水力発電所建設事業の進捗と見通しを述べました。
- 当協会理事・高橋光治氏が青年海外協力隊員(シニア隊員)として昨年秋季よりネパール文部省カリキュラム開発センターにおいてカリキュラム教科書の開発に努めていましたが「任期を終え、この3月に帰国、4月に鳴島町の実家に帰ってきました。当会にとっては力強い味方の復帰となりました。

*お願い

- 協会活動にはそれを保証する財源が必要です。1998年分の会費未納の方は会費の納入をお願いします。
- 会員の拡大をお願いします。特に賛助会員の拡大と、普通会员から同会員への変更をお願いします。3月11日現在の会員数は賛助会員22名、普通会员125名となっています。
- 当協会へのご意見ご要望、皆さんの近況報告などありましたらぜひご一報ください。
- 発電所完成が近づき事務局の運営が非常に多忙になっています。事務局の運営を手伝っていただける方を募集しています。よろしくをお願いします。

*おわび

- 会報4号(小水力特集)の発行が多忙と怠慢で非常に遅れてしまいました。お詫しを。 文責・天野親聡

1999年3月末日までの小型水力発電プロジェクト進行状況

作業名	工事日数	工事着手日	完成予定日
●取水口籬土壘	412.5日	98.03.06	99.04.30
●砂防用地	281日	98.07.05	99.04.15
●全面入り江	253日	98.08.02	99.04.15
●水路と水門用パイプ	494日	97.11.16	99.04.15
HOPEパイプの現地渡し	452日	97.11.16	99.02.28
HOPEパイプの現地組立	348日	97.11.30	98.11.30
発破作業と最終掘削作業	348日	97.11.30	98.11.30
●水路水門	473日	97.11.16	99.03.21
水門用軟鉄の現地渡し	408日	97.11.16	99.01.15
水門用軟鉄の現地組立	473日	97.11.16	99.03.21
発破作業と最終掘削作業	348日	97.11.30	98.11.30
●アンカーブロック	243日	98.07.15	99.03.14
●補助岸壁	243日	98.07.15	99.03.14
●陸部石垣	25日	99.02.18	99.03.14
●発電所上屋	80日	99.01.01	99.03.21
●発電装置・備品	484日	97.11.09	99.03.28
カトマンスにおける蝶バルブ	484日	97.11.10	99.03.27
カトマンスにおけるタービン	239日	97.11.09	98.07.25
カトマンスにおける発電機	213日	98.03.02	98.09.30
カトマンスにおける加速機	239日	97.11.09	98.07.25
備品のヘリコプター吊り作業	5日	99.03.23	99.03.28
●電線設備	417日	98.03.02	99.04.30
カトマンスにおける変圧器	213日	98.03.02	98.09.30
カトマンスにおける伝導体	316日	98.04.05	99.02.14
カトマンスにおける電柱	217日	98.04.05	98.11.07
分配電線とスイッチ類	316日	98.04.05	99.02.14
電柱と伝導体の現地引渡し	238日	99.02.14	99.04.02
分配電線とスイッチ類の現地引渡し	48日	99.03.23	99.03.28
トランス(変圧器)の現地引渡し	6日	99.01.15	99.04.30
電線の組み立てと配線工事	98日	99.04.19	99.05.19
●E&Mの設置	23日	99.04.19	99.05.19
●試運転	18日	99.05.10	99.06.02
●委任・委託	6日	99.06.07	99.06.14
●屋内配線	162日	98.11.01	99.04.15

小水力発電所建設委員会便り

小水力発電所建設委員会事務局では発電所完成に向け、最後の活動に追われているところです。しかし、その力にはおのずと限界があり苦慮している毎日です。そこで非常に厚かましいお願いですが、事業達成のため次のことについてご協力をお願い致します。

- 寄付金を募るため、机上ポストを置いていただける事業所(企業、団体または場所)を紹介していただけますか?
- 諸分野で協力していただける方の紹介(資料は事務局にあります)
- 事務局作業のお手伝い(資料作り、封書の宛名書きなど)
- *小水力発電所建設委員会は徳島友好協会内において役員を中心に設置されているものです。

小水力発電所記録文集編纂準備委員会(仮称)

小水力発電所の完成が近づき、これまでの計画の経過状況や本計画の意義などを伝えるための文集作りを行うために今年4月、設置されました。

具体的な活動計画、出版計画はまだ煮つまっていませんが、とりえず資料の収集整理作業を始めています。ご協力いただける方はぜひお手伝いください。

ブジュン村超小型水力発電所完成。落成式参加への親善施設団員募集!

ブジュン村超小型水力発電所が計画が浮上してから苦節5年、今年6月に完成することがほぼ確実にになりました。

そこでネパールの雨期明けで天候の安定する10月か11月にブジュン村とカトマンス市において点灯式や落成式などの開催を予定しております。

徳島ネパール有効協会ではこの一連のセレモニーに徳島から親善・使節団の派遣を企画し、その団員を募集致します。

ヒマラヤを間近に見上げる山村で村人とともに「電灯」の灯る喜びを分かち合いませんか?

- 日 程:1999年10月もしくは11月の1週間
- 訪問先:カトマンス市およびブジュン村
- 費 用:約25万円
- ネパールでの交通機関:国内航空機、バス、徒歩
- 今回の予約については日程がネパール側との協議で決定されますので、あくまでも参加意思の確認であることをご了承下さい。
- 参加を希望される方は同封の返信用葉書でご連絡下さい。
- 連絡先:天野親聡 Tel: 088-675-0835・Fax: 088-674-4168

徳島ネパール友好協会役員等名簿 敬称略

- 名誉顧問 岡本 大三(前 徳島商工会議所・会頭)
遠藤 哲也(前 ニュージーランド特命全権大使)
中谷 浩治(日本医師会理事)
- 顧問 野口 久雄(農業・親ネパール家)
古林 千之(徳島県木材団地協同組合連合会専務理事)
小巻 真二(小巻法律事務所・弁護士)
倉内 司郎(宝塚ネパール友好協会理事長)
斎藤 武尚(北島町長)
美馬 準一(美馬商會会長)
- 会 長 中瀬 敬之(徳島大学教授・工学博士)
副 会 長 洲崎日出一(徳島市立園瀬病院・院長)
理 事 長 天野 親聡(小松島税関支署)
副理事長 長尾 正博(株)四電工)
副理事長 暮石 洋(自営・久米電気)

「ネパール・ブジュン村超小型水力発電所建設への資金援助のお願い」

平素は当協会のご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、ネパール王国では、地域住民のエネルギー消費による森林破壊を食い止める方策として、登山やトレッキングの最も多いアンナプルナ山域に自然環境区域を設立、代替エネルギー案として16のモデル村に超小型水力発電所を設置する計画を立て、外国のNGOに支援を呼びかけていました。

私たちは、この計画のうちブジュン村への発電装置建設を援助しようと、これまで8回村を訪れ、ネパールにおける森林破壊の実態を強く実感させられました。また、一方では1994年秋から、無償援助金分2,000万円を目標に県内外の企業、事業所、また環境保全やネパール、あるいは発展途上国に関心のある方々に、支援をお願いしてまいりました。

その結果、郵政省ボランティア貯金の配分や、多くの方々のあたたかいご協力と、快く寄付に応じていただいた皆さんのおかげで、目標の9割近くに当たる約1,800万円が寄せられました。

そこで当協会では目標達成のため、残りの200万円の寄付を、あとひとまわり広く、皆さんに訴えることにしました。

地球規模での環境保全や、発展途上国援助がさげばれている今日、日本で初めて徳島の援助によってネパールの山村に電灯が灯ることにより、年間1,500トンの木材資源が節約され、これまで森林伐採に要していた労働力が削減されます。特に主婦や子供がマキ運びや囲炉裏作業から解放され、健康、教育問題も大幅に改善されます。

もう少しで、私たちの思いがブジュン村に届くところまでこぎつけました。何としても水力発電所を完成させ、日本とネパールの間に強固な「かけはし」を築き、民間レベルでの親善、交流を進めたいとの強い願いをもっております。発電所建設まで、あとひと頑張りが必要なことはもちろんですが、多くの支援して下さる方々がいてこそ可能なことです。

どうかこの事業の趣旨を今一度御理解いただき、資金援助を寄せて下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。皆さんから寄せられた善意を無にすることなく、全力をあげ取り組みたいと決意している次第です。

なお、当事業は資金調達と並行して、1997年6月13日に工事協定書に調印、同年11月に着工、本年6月に完成の予定となっています。

*追記

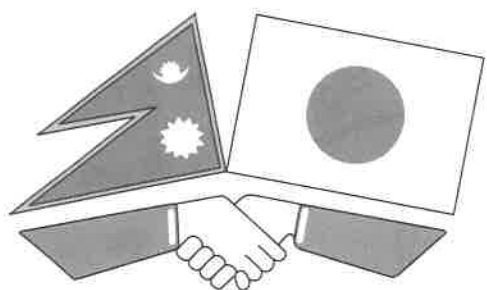
資金援助や寄付金ポストを置いていただけそうな、企業や事業所、団体、知人の紹介もお願いできれば助かります。

*寄付金の振込先

(銀行振替) 阿波銀行 石井支店 (普) 1009369 徳島ネパール友好協会
(郵便振替) 石井郵便局 01600-2-52742 同上

平成11年5月

徳島ネパール友好協会



徳島ネパール友好協会

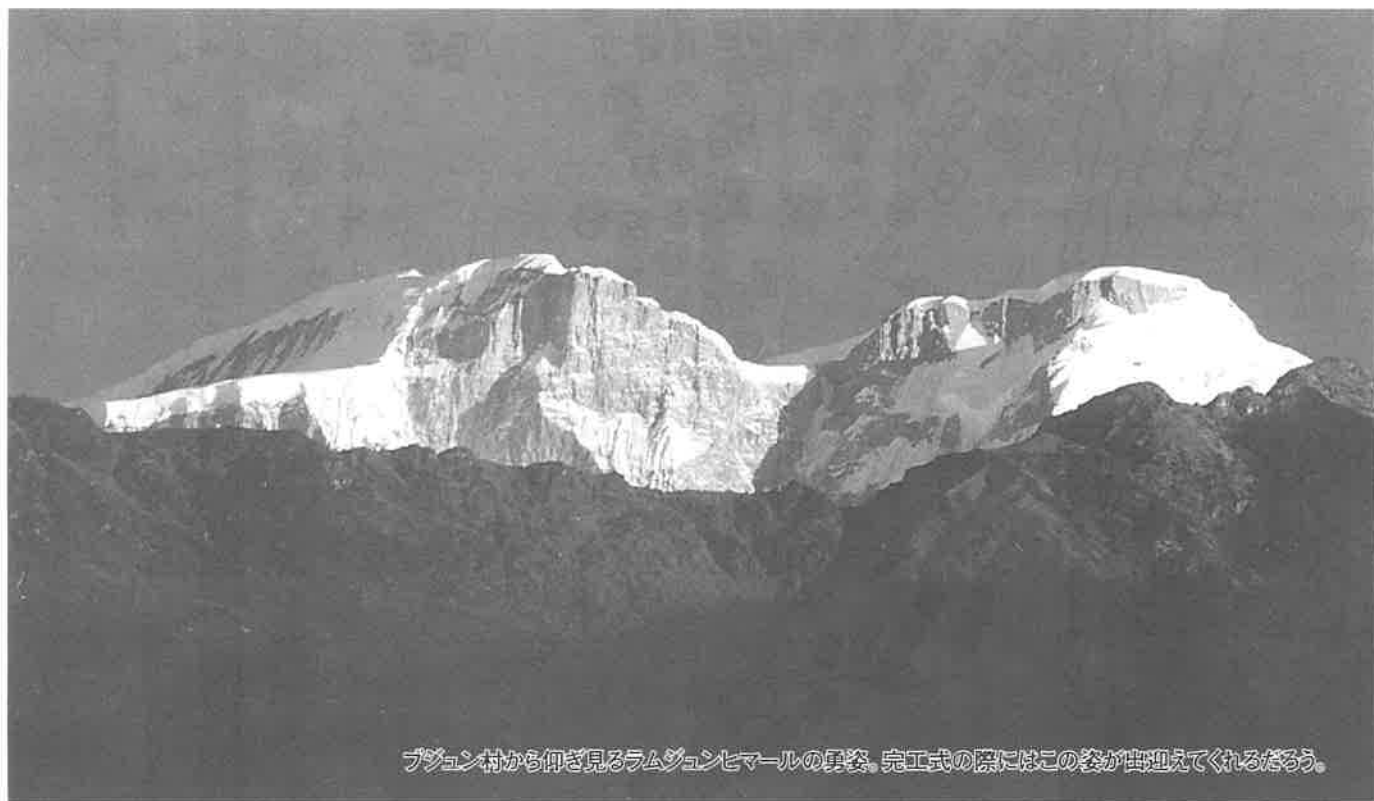
徳島県名西郡石井町藍畑字西覚円718-5

天野 親聡 方 (TEL) 088-675-0835 (FAX) 088-674-4168

ネパール・カトマンズ連絡所

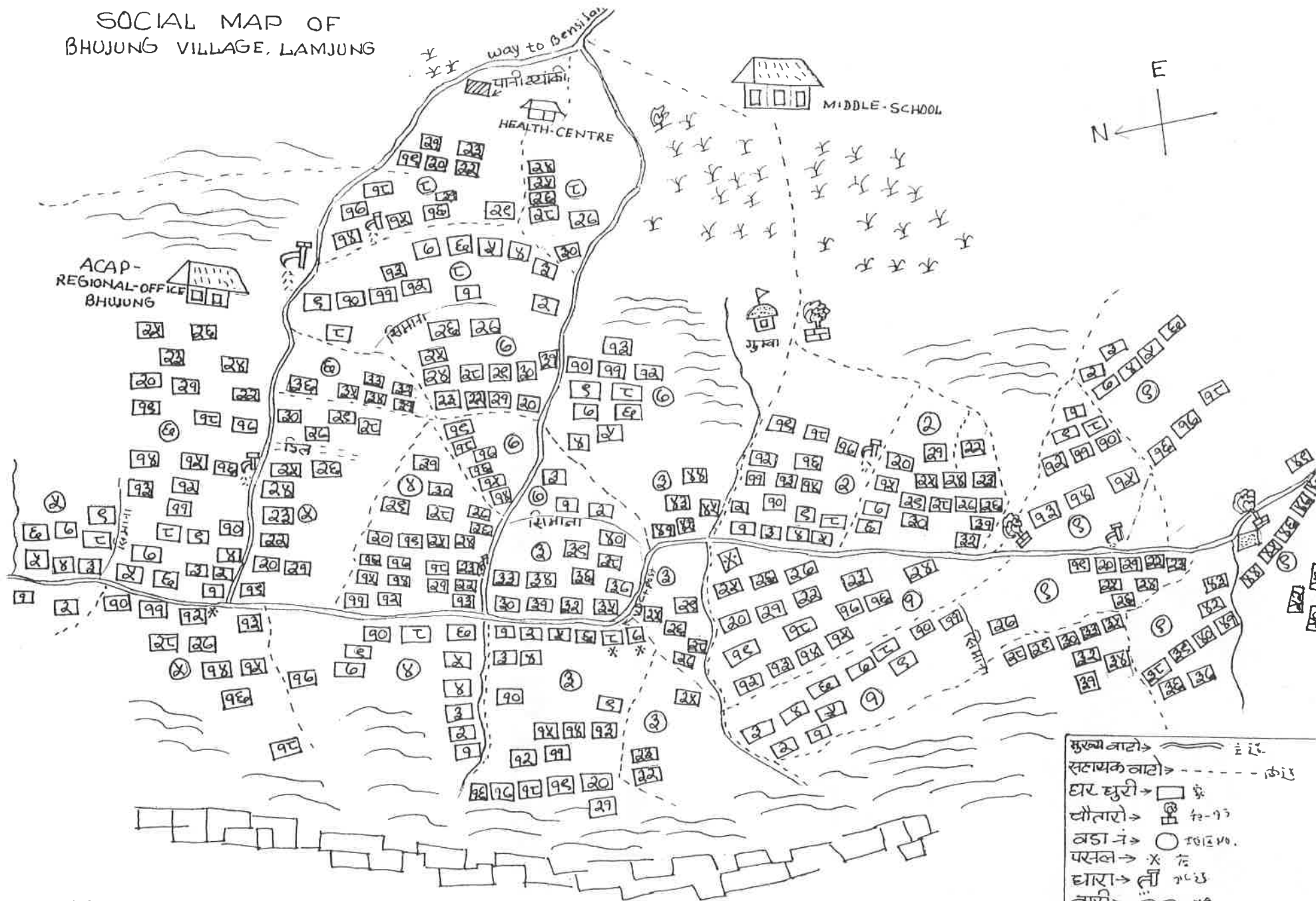
(TEL) 231788 (FAX) 224466

(銀行振替) 阿波銀行 石井支店 (普) 1009369
徳島銀行 石井支店 (普) 5823611
(郵便振替) 石井郵便局 01600-2-52742



ブジュン村から仰ぎ見るラムジュンヒマールの真姿。完工式の際にはこの姿が白迎えてくれるだろう。

SOCIAL MAP OF BHUJUNG VILLAGE, LAMJUNG



मुख्य बाटो	→	—	इ.स.
सहायक बाटो	→	- - - -	क.स.
घाट घुरी	→	□	घ.
चौतारो	→	⊕	घ-१३
बडा नं	→	○	घा.१०.
पसल	→	×	घ.
घारा	→	⋈	घ.३३
नारी	→	~	घ.
खेत	→	▭	घ.५
खोल्सा	→	~	घ.
बुखान	→	✕	घ.

4-6/4

prepared By:
LIVESTOCK-SECTION
ACAP-REGIONAL OFFICE, BHUJUNG

21-5-051